木村敏文 坂東市長就任インタビュー

（きむら・としふみ）1956年生まれ、69歳。坂東市沓掛出身。明治学院大学法学部卒。2001年に猿島町議会議員、06年に坂東市議会議員に当選。12年には坂東市議会議長に就任した。17年に坂東市長に当選し、本年より3期目を迎える。座右の銘は「天道人不欺（天は人を欺かない）」趣味はゴルフ観戦。

＼みんなでつくる／ まちづくり実現へ

坂東市の木村敏文市長は、3月の選挙で3期目の当選を果たした。1期目では財政再建を掲げ、学校整備や地籍調査を実施。2期目では、工業団地の開発やハイウェイ・オアシスの整備など、様々な政策を推進してきた。市が誕生してから20年を迎え、転換期を迎える今、主な建設事業やインフラ整備、人口減少対策などについて話をうかがった。

坂東PA ハイウェイオアシス に注力

2期8年の振り返りと3期目の抱負

あっという間の8年間だった。当初は市の財政状況など様々なことを考え、持続可能な地域づくりが大事だという思いを持ちながら、様々な政策に取り組んできた。財政規律を重んじながらも、市民の意見を尊重し、みんなでつくるまちづくりを実現していきたい。この2期8年で、市のリスクや借金ある程度減らすことが出来た。今後は、圏央道事業など、国や県の動きに合わせつつ今ある事業を推進していきたい。

◆主要事業

工業団地「フロンティアパーク坂東」について

元々市では、2013年度より、坂東インター工業団地の開発事業を進めていた。団地17区画が、スムーズに完売できたこともあり、新たに県の事業として、工業団地「フロンティアパーク坂東」の事業が進むこととなった。県の予算で約200億円規模の大きなものとなる。本市だけでなく、県内広域で土木工事をしていただいていると推察している。本市と県が連携を取り合いながら、企業誘致に向けて、事業を推進していきたい。

市のにぎわい創出について

今年4月には、産業経済交流施設「坂東将門の里」がオープンした。私の想像以上に大好評で、朝採れ野菜など売り切れが続出するほど賑わっている。施設内には市のPRブースやサイクリング施設を設置し、さまざまな方に楽しんでいただけるように心がけている。隣の常総市にある道の駅常総をみても大盛況であることから、坂東PAハイウェイ・オアシスが完成した際も、遜色ないくらい賑わうように計画していきたい。そのためにも、インフラ整備を積極的に進めていきたい。

テープカットを実施、竣工を祝う

そして、坂東市は千葉県や埼玉県がすぐ隣にあるので、県外の方にも楽しんでいただけるような施設を目指していきたい。

坂東PAハイウェイ・オアシス事業

圏央道「菖蒲PA」～「江戸崎PA」間の約77㎞にわたり、休憩施設（PA）がないという話をうかがった。PAの候補地として、本市が用地を提供させていただき、ネクスコ東日本が坂東PAを設置、その隣接地にハイウェイ・オアシス整備の承認を受けたことで、この事業が誕生した。昨年秋には先駆けとなるコンビニエンスストアが誕生し、現在は地盤改良などの基礎的な工事を進めている。本年度は公園広場の整備工事や貯水池の整備工事、駐車場の拡張工事を行う。

また、坂東PAを中心とした地区計画の策定を予定しており、地域活性化の拠点としてふさわしい、地域形成及び有効な土地利用の促進を図りたい。なお、アクセス道路などの基礎的な部分が肝心になってくるため、周辺のインフラ整備を進めたい。

インフラ整備について

埼玉県の陥没事故は非常に残念なものであった。本市には、大きな事故を起こすほどの下水配管はないとは聞いている。ただこれからの時代、上水・下水問わず、整備時からの年数を考えると、だいぶ更新の時期にきている。また、県では、水道事業の一元化が進んでいることもあり、水道管の老朽化箇所について、今まで以上のスピード感をもって更新する必要があるように感じている。

道路においても、国や県の補助もいただきながら整備を推進していきたい。住民要望では生活関連道路の整備の声が大きい。狭あい道路の拡幅など、ニーズが高い部分から優先的に進めていきたい。

「坂東PA　ハイウェイ・オアシス」イメージ図（坂東市HPより）

人口減少・少子高齢化について

市だけでどうにかできる問題ではなく、日本全体として少子高齢化社会を迎えている。その中で、いかに地元で生まれ育った人が地元で就いてくれるのかが大事になる。

市だけに関して言えば、Iターンや Uターンを推進している。最近では、新卒者向けの企業説明会を実施した。県外に出ている大学生や専門学生などにいかに戻ってきてもらうかが重要。そのためには、市内で開発される工業団地などに優良企業を誘致し、多くの人に戻ってきていただくことが、市の人口の増加とはいかないとも、人口減少を食い止めることに繋がると考えている。定住については、奨励金や、奨学金の返済補助などを実施している。引き続き定住の促進も行っていきたい。

地元建設業者へのメッセージ

建設業界も人手不足や物価高騰の影響など、先行きが不透明なところがあるとは思う。一方で、坂東市に限っていえば、上下水道の整備など、やらなければならないことも非常に多い。まだまだ地元の業者にお世話になると思うので、これからも地元の皆さまにお力添えいただきたい。県の工業団地事業においても、なるべく地元業者が活躍できる場面をいただけるよう私としても頑張りたい。

◆休日の過ごし方

最近は休みがあまり取れないこともあるが、ゴルフ観戦にはよく行っていた。この局面で攻めるのか、はたまた堅実にいくのか、といった選手それぞれのジャッジを見るのがとても楽しい。

私たちは郷土の発展に貢献しています

ばんどう建設業協会

会長　飯田俊美
副会長　松本竜也
副会長　逆井秀敏
会計　間中一吉
監事　岡野利雄

監事　野口孝市
理事　古谷雄樹
理事　真中聡
理事　武井俊一
理事　中村裕之

◇会員◇

小林建設㈱
㈲関建設興業
武井鉄工建設㈱
㈲中山造園土木
㈱石塚建設
㈲マナカテクニカ
㈱岩井造園土木
㈲丸カ土木建材興業
岩仲建設㈱
㈱タカダ
㈱のぐち
古谷建設㈱
逆井土建㈲
㈲明正工業
㈱カノヤ
野口工業㈲
㈲猿島ガーデン
㈲板垣造園
㈲西部建設工業
㈱坂巻工業
㈱幸上土木
㈱中村組
㈱俊光建設
堀越造園㈱
島田工業㈱
㈱S・Kプランニング
㈱中山工業